

日本語の談話構造の処理メカニズム

Dr. Masako Hirotani

**Associate Professor, Carleton University &
Max Planck Institute for Human Cognitive
and Brain Sciences, Leipzig, Germany**

本発表では、日本語の談話構造の処理のメカニズムを脳波と眼球運動による実験データを用いて論じる（c.f., Hirotani & Schumacher, 2011; Hirotani et al., in preparation）。具体的には、日本語の特徴の1つである「は」と「が」を通して、オン・ラインで行われる談話処理の規則および神経基盤を探る。さらに、英語、ドイツ語等の他言語と比較し、談話処理におけるメカニズムの普遍性を追求する。

日時：2011年9月26日（月）13:00-14:30

場所：名古屋大学全学教育棟・北棟406号室

問い合わせ：玉岡賀津雄 (ktamaoka@lang.nagoya-u.ac.jp)

事前予約不要・参加費無料

2011年度 名古屋大学大学院国際言語文化研究科
日本語教育学講座第14回講演会
大学院生のための言語研究方法論養成プロジェクト